

令和4年度 病院事業決算状況

都道府県名 静岡県

総務省

- 目次 -

市町村・組合名	病院名	ページ			
-	静岡がんセンター	2	御前崎市	市立御前崎総合病院	20
-	想定企業会計（静岡県立病院機構）	3	菊川市	菊川市立総合病院	21
静岡市	静岡市立静岡病院	4	森町	公立森町病院	22
静岡市	静岡市立清水病院	5	共立蒲原総合病院組合（事業会計分）	共立蒲原総合病院	23
浜松市	浜松医療センター	6	榛原総合病院組合（事業会計分）	榛原総合病院	24
浜松市	浜松市リハビリテーション病院	7	一部事務組合下田メディカルセンター（事業会計分）	下田メディカルセンター	25
浜松市	浜松市国民健康保険佐久間病院	8	掛川市・袋井市病院企業団	掛川市・袋井市病院企業団立 中東遠総合医療センター	26
沼津市	市立病院	9			
富士宮市	富士宮市立病院	10			
伊東市	伊東市民病院	11			
島田市	島田市立総合医療センター	12			
富士市	中央病院	13			
磐田市	磐田市立総合病院	14			
焼津市	焼津市立総合病院	15			
藤枝市	藤枝市立総合病院	16			
袋井市	袋井市民病院	17			
袋井市	聖隷袋井市民病院	18			
湖西市	市立湖西病院	19			

病院事業決算状況(令和4年度)				都道府県名	
				静岡県	
市町村・組合名					
病院名	静岡がんセンター				
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド透訓力		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当		
建物面積	86,665 m ²	不採算地区中核病院	非該当		
診療科数	37	指定病院の状況	が 特		
許可公営企業		看護配置	7:1		
DPC対象病院	対象	経営形態	直営		
		類似区分	500床以上		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和4年度	令和3年度	令和2年度
一般	615	88.6	86.1	81.6
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	615	88.6	86.1	81.6
平均在院日数(一般病床のみ)		11.8	11.5	12.1

設立団体の状況		
人口(人)	3,633,202	
決算規模(千円)	1,359,231,789	
標準財政規模(千円)	726,566,363	
財政力指数	0.67663	
経常収支比率(%)	95.4	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	13.0
	将来負担比率(%)	240.0

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	42,126,931			
1 経常収益	42,114,273			
(1) 医業収益	33,584,254			
(うち修正医業収益)	33,443,675			
入院収益	15,087,062			
外来収益	17,690,347			
診療収入計	32,777,409			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	806,845			
(うち他会計負担金)	140,579			
(2) 医業外収益	8,530,019			
(うち国・都道府県補助金)	298,630			
(うち他会計補助・負担金)	6,650,100			
(うち長期前受金戻入)	125,231			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	12,658			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	42,503,799			
2 経常費用	42,408,910			
(1) 医業費用	38,208,039			
職員給与費	14,614,733	43.5	59.4	52.8
材料費	14,894,725	44.4	26.1	31.5
(うち薬品費)	12,335,458	36.7	14.0	17.3
(うち薬品費以外の医薬材料費)	2,559,267	7.6	11.8	13.9
減価償却費	1,775,733	5.3	8.7	7.7
経費	6,405,721	19.1	22.1	18.0
(うち委託料)	4,842,330	14.4	11.7	10.7
研究研修費	498,478			
資産減耗費	18,649			
(2) 医業外費用	4,200,871			
(うち支払利息)	452,079	1.3	1.0	0.9
(3) 特別損失	94,889			
経常損益	-294,637			
純損益	-376,868			
累積欠損金	4,748,284			
経常収支比率	99.3		103.3	102.8
医業収支比率	87.9		85.5	90.3
修正医業収支比率	87.5		82.8	88.3
他会計繰入金対経常収益比率	16.1		11.1	7.5
他会計繰入金対医業収益比率	20.2		14.1	9.0
他会計繰入金対総収益比率	16.1		11.0	7.4
実質収益対経常費用比率	83.3		91.9	95.1

備考:
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	53,936,407
1 固定資産	41,101,788
(1) 有形固定資産	38,786,701
(2) 無形固定資産	129,521
(3) 投資その他の資産	2,185,566
2 流動資産	12,834,619
(1) 現金及び預金	6,188,830
(2) 未収金及び未収収益	5,957,691
(3) 貸倒引当金()	106,430
(4) 貯蔵品	654,471
3 繰延資産	-
負債合計	46,418,886
1 固定負債	35,791,828
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	31,865,425
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	3,926,403
(7) 一ス債務	-
2 流動負債	8,864,414
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	4,420,885
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	876,550
(6) リ一ス債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	3,383,134
(9) 前受金及び前受収益	60,829
3 繰延収益	1,762,644
(1) 長期前受金	5,992,766
(2) 長期前受金収益化累計額()	4,230,122
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-
資本合計	7,517,521
1 資本金	11,806,106
2 剰余金	-4,288,585
(1) 資本剰余金	459,699
(2) 利益剰余金	-4,748,284
負債・資本合計	53,936,407
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	6,786,987	6,790,679
資本勘定繰入	1,849,984	222,550
計	8,636,971	7,013,229

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和4年度	-	-
令和3年度	-	-
令和2年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	14.1
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和4年度)		都道府県名	
		静岡県	
市町村・組合名			
病院名	想定企業会計(静岡県立病院機構)		
施設及び業務概況等			
法適用区分		特殊診療機能	
病院区分		不採算地区病院	
建物面積	- m ²	不採算地区中核病院	
診療科数	-	指定病院の状況	
許可公営企業		看護配置	
DPC対象病院	-	経営形態	直営
		類似区分	500床以上

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	令和4年度	令和3年度	令和2年度
一般	-	-	-	-
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	-	-	-	-
平均在院日数(一般病床のみ)		-	-	-

設立団体の状況	
人口(人)	3,633,202
決算規模(千円)	1,359,231,789
標準財政規模(千円)	726,566,363
財政力指数	0.67663
経常収支比率(%)	95.4
健全化判断比率	実質赤字比率(%)
	連結実質赤字比率(%)
	実質公債費比率(%)
	将来負担比率(%)

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	124,930			
1 経常収益	124,930			
(1) 医業収益	-			
(うち修正医業収益)	-			
入院収益	-			
外来収益	-			
診療収入計	-			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	-			
(うち他会計負担金)	-			
(2) 医業外収益	124,930			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	-			
(うち長期前受金戻入)	-			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	124,930			
2 経常費用	124,930			
(1) 医業費用	-			
職員給与費	-	-	59.4	52.8
材料費	-	-	26.1	31.5
(うち薬品費)	-	-	14.0	17.3
(うち薬品費以外の医薬材料費)	-	-	11.8	13.9
減価償却費	-	-	8.7	7.7
経費	-	-	22.1	18.0
(うち委託料)	-	-	11.7	10.7
研究研修費	-			
資産減耗費	-			
(2) 医業外費用	124,930			
(うち支払利息)	124,930	-	1.0	0.9
(3) 特別損失	-			
経常損失	-			
損益	純損益	-		
累積欠損金	-			
経常収支比率	100.0		103.3	102.8
医業収支比率	-		85.5	90.3
修正医業収支比率	-		82.8	88.3
他会計繰入金対経常収益比率	-		11.1	7.5
他会計繰入金対医業収益比率	-		14.1	9.0
他会計繰入金対総収益比率	-		11.0	7.4
実質収益対経常費用比率	100.0		91.9	95.1

備考:
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	-
1 固定資産	-
(1) 有形固定資産	-
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	-
(1) 現金及び預金	-
(2) 未収金及び未収収益	-
(3) 貸倒引当金()	-
(4) 貯蔵品	-
3 繰延資産	-
負債合計	-
1 固定負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) 一時借入金	-
(8) リース債務	-
2 流動負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	-
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	-
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	-
(1) 長期前受金	-
(2) 長期前受金収益化累計額()	-
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-
資本合計	-
1 資本金	-
2 剰余金	-
(1) 資本剰余金	-
(2) 利益剰余金	-
負債・資本合計	-
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	-	-
資本勘定繰入	-	-
計	-	-

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和4年度	-	-
令和3年度	-	-
令和2年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	14.1
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和4年度)		都道府県名 静岡県	
市町村・組合名	静岡市		
病院名	静岡市立静岡病院		
施設及び業務概況等			
法適用区分		特殊診療機能	
病院区分		不採算地区病院	
建物面積	- m ²	不採算地区中核病院	
診療科数	-	指定病院の状況	
許可公営企業		看護配置	
DPC対象病院	-	経営形態	直営
		類似区分	500床以上

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	令和4年度	令和3年度	令和2年度
一般	-	-	-	-
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	-	-	-	-
平均在院日数(一般病床のみ)		-	-	-

設立団体の状況	
人口(人)	693,389
決算規模(千円)	349,544,762
標準財政規模(千円)	193,465,064
財政力指数	0.85
経常収支比率(%)	93.1
健全化	実質赤字比率(%)
判断比率	連結実質赤字比率(%)
	実質公債費比率(%)
	将来負担比率(%)

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	55,000			
1 経常収益	55,000			
(1) 医業収益	-			
(うち修正医業収益)	-			
入院収益	-			
外来収益	-			
診療収入計	-			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	-			
(うち他会計負担金)	-			
(2) 医業外収益	55,000			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	55,000			
(うち長期前受金戻入)	-			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	55,000			
2 経常費用	55,000			
(1) 医業費用	-			
職員給与費	-	-	59.4	52.8
材料費	-	-	26.1	31.5
(うち薬品費)	-	-	14.0	17.3
(うち薬品費以外の医薬材料費)	-	-	11.8	13.9
減価償却費	-	-	8.7	7.7
経費	-	-	22.1	18.0
(うち委託料)	-	-	11.7	10.7
研究研修費	-			
資産減耗費	-			
(2) 医業外費用	55,000			
(うち支払利息)	55,000	-	1.0	0.9
(3) 特別損失	-			
経常損失	-			
損益	純損益	-		
累積欠損金	-			
経常収支比率	100.0		103.3	102.8
医業収支比率	-		85.5	90.3
修正医業収支比率	-		82.8	88.3
他会計繰入金対経常収益比率	100.0		11.1	7.5
他会計繰入金対医業収益比率	-		14.1	9.0
他会計繰入金対総収益比率	100.0		11.0	7.4
実質収益対経常費用比率	-		91.9	95.1

備考：
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	-
1 固定資産	-
(1) 有形固定資産	-
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	-
(1) 現金及び預金	-
(2) 未収金及び未収収益	-
(3) 貸倒引当金()	-
(4) 貯蔵品	-
3 繰延資産	-
負債合計	-
1 固定負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) 一時借入金	-
(8) リース債務	-
2 流動負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	-
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	-
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	-
(1) 長期前受金	-
(2) 長期前受金収益化累計額()	-
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-
資本合計	-
1 資本金	-
2 剰余金	-
(1) 資本剰余金	-
(2) 利益剰余金	-
負債・資本合計	-
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	55,000	55,000
資本勘定繰入	287,000	287,000
計	342,000	342,000

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和4年度	-	-
令和3年度	-	-
令和2年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	0.8
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：
 ・修正医業収益とは、医業収益から
 その他医業収益のうち他会計負担金を
 除いたもので、修正医業収支比率とは、
 修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益の
 うち他会計負担金を除いたものと医業外収益から
 他会計補助・負担金を除いたものの合計で、
 実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に
 占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、
 「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、
 「健全化法上の資金不足額」、
 「健全化法上の資金不足比率」、
 「地財法上の資金不足額」、
 「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で
 算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の
 財政構造の弾力性を判断するための指標で、
 人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に
 支出される経費(経常的経費)に充当された
 一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする
 毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、
 減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債
 の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和4年度)				都道府県名	
				静岡県	
市町村・組合名		静岡市			
病院名		静岡市立清水病院			
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド透I未訓力		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当		
建物面積	35,997 m ²	不採算地区中核病院	非該当		
診療科数	26	指定病院の状況	救臨 災地輪		
許可公営企業		看護配置	7:1		
DPC対象病院	対象	経営形態	直営		
		類似区分	400床以上～500床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和4年度	令和3年度	令和2年度
一般	463	71.4	66.4	61.4
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	463	71.4	66.4	61.4
平均在院日数(一般病床のみ)		15.6	14.0	14.4

設立団体の状況		
人口(人)	693,389	
決算規模(千円)	349,544,762	
標準財政規模(千円)	193,465,064	
財政力指数	0.85	
経常収支比率(%)	93.1	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	6.3
	将来負担比率(%)	34.3

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	13,579,330			
1 経常収益	13,579,330			
(1) 医業収益	9,961,949			
(うち修正医業収益)	9,304,458			
入院収益	6,801,622			
外来収益	2,269,604			
診療収入計	9,071,226			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	890,723			
(うち他会計負担金)	657,491			
(2) 医業外収益	3,617,381			
(うち国・都道府県補助金)	996,542			
(うち他会計補助・負担金)	2,504,351			
(うち長期前受金戻入)	27,135			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	13,010,599			
2 経常費用	13,010,599			
(1) 医業費用	12,377,321			
職員給与費	6,782,346	68.1	59.4	57.2
材料費	2,089,076	21.0	26.1	28.0
(うち薬品費)	1,200,057	12.0	14.0	14.9
(うち薬品費以外の医薬材料費)	889,019	8.9	11.8	12.7
減価償却費	881,067	8.8	8.7	8.0
経費	2,575,535	25.9	22.1	19.0
(うち委託料)	1,331,096	13.4	11.7	10.0
研究研修費	42,683			
資産減耗費	6,614			
(2) 医業外費用	633,278			
(うち支払利息)	30,626	0.3	1.0	1.0
(3) 特別損失	-			
損益	568,731			
純損益	568,731			
累積欠損金	79,128			
経常収支比率	104.4		103.3	103.2
医業収支比率	80.5		85.5	88.6
修正医業収支比率	75.2		82.8	85.9
他会計繰入金対経常収益比率	23.3		11.1	9.5
他会計繰入金対医業収益比率	31.7		14.1	11.7
他会計繰入金対総収益比率	23.3		11.0	9.4
実質収益対経常費用比率	80.1		91.9	93.4

備考：「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	14,022,581
1 固定資産	8,995,772
(1) 有形固定資産	8,553,379
(2) 無形固定資産	483
(3) 投資その他の資産	441,910
2 流動資産	5,026,809
(1) 現金及び預金	1,683,293
(2) 未収金及び未収収益	3,365,455
(3) 貸倒引当金()	76,741
(4) 貯蔵品	49,651
3 繰延資産	-
負債合計	7,748,109
1 固定負債	5,156,872
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	2,251,461
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	1,862,411
(7) 一ス債務	1,043,000
2 流動負債	2,293,126
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	566,768
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	464,261
(6) リ一ス債務	378,295
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	882,194
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	298,111
(1) 長期前受金	813,028
(2) 長期前受金収益化累計額()	514,917
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-
資本合計	6,274,472
1 資本金	6,281,674
2 剰余金	-7,202
(1) 資本剰余金	71,926
(2) 利益剰余金	-79,128
負債・資本合計	14,022,581
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	1,795,200	3,161,842
資本勘定繰入	-	39,000
計	1,795,200	3,200,842

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和4年度	-	-
令和3年度	-	-
令和2年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	0.8
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和4年度)				都道府県名	
				静岡県	
市町村・組合名	浜松市				
病院名	浜松医療センター				
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド透I未訓カ		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当		
建物面積	47,404 m ²	不採算地区中核病院	非該当		
診療科数	34	指定病院の状況	救臨が感災地輪		
許可公営企業		看護配置	7:1		
DPC対象病院	対象	経営形態	指定管理者(利用料金制)		
		類似区分	500床以上		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和4年度	令和3年度	令和2年度
一般	600	75.0	76.9	77.4
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	6	-	-	9.3
計	606	74.2	76.1	76.8
平均在院日数(一般病床のみ)		12.2	12.6	13.3

設立団体の状況		
人口(人)	790,718	
決算規模(千円)	381,204,906	
標準財政規模(千円)	218,550,571	
財政力指数	0.83	
経常収支比率(%)	90.1	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	4.4
	将来負担比率(%)	-

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	3,641,932			
1 経常収益	3,610,446			
(1) 医業収益	317,726			
(うち修正医業収益)	-			
入院収益	-			
外来収益	-			
診療収入計	-			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	317,726			
(うち他会計負担金)	317,726			
(2) 医業外収益	3,292,720			
(うち国・都道府県補助金)	1,007,898			
(うち他会計補助・負担金)	684,917			
(うち長期前受金戻入)	112,565			
(うち資本費繰入収益)	671,615			
(3) 特別利益	31,486			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	3,220,443			
2 経常費用	3,220,443			
(1) 医業費用	2,984,006			
職員給与費	8,741	2.8	59.4	52.8
材料費	-	-	26.1	31.5
(うち薬品費)	-	-	14.0	17.3
(うち薬品費以外の医薬材料費)	-	-	11.8	13.9
減価償却費	986,122	310.4	8.7	7.7
経費	1,811,208	570.1	22.1	18.0
(うち委託料)	1,808,304	569.1	11.7	10.7
研究研修費	-			
資産減耗費	177,935			
(2) 医業外費用	236,437			
(うち支払利息)	197,591	62.2	1.0	0.9
(3) 特別損失	-			
経常損益	390,003			
純損益	421,489			
累積欠損金	-			
経常収支比率	112.1		103.3	102.8
医業収支比率	10.6		85.5	90.3
修正医業収支比率	-		82.8	88.3
他会計繰入金対経常収益比率	27.8		11.1	7.5
他会計繰入金対医業収益比率	315.6		14.1	9.0
他会計繰入金対総収益比率	27.5		11.0	7.4
実質収益対経常費用比率	81.0		91.9	95.1

備考:
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	48,973,203
1 固定資産	34,578,029
(1) 有形固定資産	34,077,002
(2) 無形固定資産	6,901
(3) 投資その他の資産	494,126
2 流動資産	14,395,174
(1) 現金及び預金	12,401,870
(2) 未収金及び未収収益	1,984,745
(3) 貸倒引当金()	2,019
(4) 貯蔵品	10,578
3 繰延資産	-
負債合計	34,498,704
1 固定負債	22,228,325
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	21,939,759
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	253,543
(7) 一ス債務	35,023
2 流動負債	11,020,495
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	1,415,443
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	35,701
(6) リ一ス債務	19,749
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	9,543,399
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	1,249,884
(1) 長期前受金	3,460,013
(2) 長期前受金収益化累計額()	2,210,129
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-
資本合計	14,474,499
1 資本金	3,639,993
2 剰余金	10,834,506
(1) 資本剰余金	4,121,273
(2) 利益剰余金	6,713,233
負債・資本合計	48,973,203
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	570,643	1,002,643
資本勘定繰入	741,450	741,450
計	1,312,093	1,744,093

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和4年度	-	-
令和3年度	-	-
令和2年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	-
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和4年度)			都道府県名
			静岡県
市町村・組合名	浜松市		
病院名	浜松市リハビリテーション病院		
施設及び業務概況等			
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当
建物面積	17,424 m ²	不採算地区中核病院	非該当
診療科数	4	指定病院の状況	
許可公営企業		看護配置	15:1
DPC対象病院	-	経営形態	指定管理者(代行制)
		類似区分	200床以上~300床未満

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和4年度	令和3年度	令和2年度
一般	180	92.8	94.7	94.3
療養	45	95.6	97.1	96.3
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	225	93.3	95.2	94.7
平均在院日数(一般病床のみ)		51.7	49.2	45.0

設立団体の状況		
人口(人)	790,718	
決算規模(千円)	381,204,906	
標準財政規模(千円)	218,550,571	
財政力指数	0.83	
経常収支比率(%)	90.1	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	4.4
	将来負担比率(%)	-

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	4,162,424			
1 経常収益	4,160,958			
(1) 医業収益	3,715,766			
(うち修正医業収益)	3,715,766			
入院収益	3,153,801			
外来収益	380,615			
診療収入計	3,534,416			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	181,350			
(うち他会計負担金)	-			
(2) 医業外収益	445,192			
(うち国・都道府県補助金)	33,854			
(うち他会計補助・負担金)	266,765			
(うち長期前受金戻入)	101,693			
(うち資本費繰入収益)	42,094			
(3) 特別利益	1,466			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	4,097,631			
2 経常費用	4,080,669			
(1) 医業費用	3,996,911			
職員給与費	9,082	0.2	59.4	63.7
材料費	-	-	26.1	21.0
(うち薬品費)	-	-	14.0	10.6
(うち薬品費以外の医薬材料費)	-	-	11.8	10.1
減価償却費	231,377	6.2	8.7	9.7
経費	3,753,391	101.0	22.1	28.9
(うち委託料)	3,750,778	100.9	11.7	13.6
研究研修費	-			
資産減耗費	3,061			
(2) 医業外費用	83,758			
(うち支払利息)	66,629	1.8	1.0	1.1
(3) 特別損失	16,962			
経常損益	80,289			
純損益	64,793			
累積欠損金	144,363			
経常収支比率	102.0		103.3	101.8
医業収支比率	93.0		85.5	80.8
修正医業収支比率	93.0		82.8	77.4
他会計繰入金対経常収益比率	6.4		11.1	12.3
他会計繰入金対医業収益比率	7.2		14.1	16.5
他会計繰入金対総収益比率	6.4		11.0	12.3
実質収益対経常費用比率	95.4		91.9	89.2

備考:
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	48,973,203
1 固定資産	34,578,029
(1) 有形固定資産	34,077,002
(2) 無形固定資産	6,901
(3) 投資その他の資産	494,126
2 流動資産	14,395,174
(1) 現金及び預金	12,401,870
(2) 未収金及び未収収益	1,984,745
(3) 貸倒引当金()	2,019
(4) 貯蔵品	10,578
3 繰延資産	-
負債合計	34,498,704
1 固定負債	22,228,325
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	21,939,759
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	253,543
(7) 一ス債務	35,023
2 流動負債	11,020,495
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	1,415,443
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	35,701
(6) リ一ス債務	19,749
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	9,543,399
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	1,249,884
(1) 長期前受金	3,460,013
(2) 長期前受金収益化累計額()	2,210,129
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-
資本合計	14,474,499
1 資本金	3,639,993
2 剰余金	10,834,506
(1) 資本剰余金	4,121,273
(2) 利益剰余金	6,713,233
負債・資本合計	48,973,203
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	104,765	266,765
資本勘定繰入	137,580	137,580
計	242,345	404,345

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和4年度	-	-
令和3年度	-	-
令和2年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	-
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和4年度)			都道府県名 静岡県
市町村・組合名	浜松市		
病院名	浜松市国民健康保険佐久間病院		
施設及び業務概況等			
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第1種該当
建物面積	6,517 m ²	不採算地区中核病院	
診療科数	8	指定病院の状況	救 感 へ
許可公営企業		看護配置	13:1
DPC対象病院	-	経営形態	直営
		類似区分	50床未満

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%)・日				
区分	病床数	令和4年度	令和3年度	令和2年度
一般	36	68.5	69.3	60.8
療養	-	-	-	47.0
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	4	-	-	-
計	40	61.7	62.4	52.2
平均在院日数(一般病床のみ)		18.0	24.0	21.4

設立団体の状況	
人口(人)	790,718
決算規模(千円)	381,204,906
標準財政規模(千円)	218,550,571
財政力指数	0.83
経常収支比率(%)	90.1
健全化 判断比率	実質赤字比率(%) 連結実質赤字比率(%) 実質公債費比率(%) 将来負担比率(%)
	- - 4.4 -

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	1,090,550			
1 経常収益	1,090,370			
(1) 医業収益	537,242			
(うち修正医業収益)	495,857			
入院収益	246,012			
外来収益	216,555			
診療収入計	462,567			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	74,675			
(うち他会計負担金)	41,385			
(2) 医業外収益	553,128			
(うち国・都道府県補助金)	43,519			
(うち他会計補助・負担金)	436,438			
(うち長期前受金戻入)	49,741			
(うち資本費繰入収益)	16,729			
(3) 特別利益	180			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	1,181,140			
2 経常費用	1,180,865			
(1) 医業費用	1,127,545			
職員給与費	572,607	106.6	59.4	87.7
材料費	116,439	21.7	26.1	13.6
(うち薬品費)	79,768	14.8	14.0	7.0
(うち薬品費以外の医薬材料費)	29,718	5.5	11.8	5.9
減価償却費	84,731	15.8	8.7	12.7
経費	351,336	65.4	22.1	45.1
(うち委託料)	170,166	31.7	11.7	21.3
研究研修費	1,095			
資産減耗費	1,337			
(2) 医業外費用	53,320			
(うち支払利息)	5,464	1.0	1.0	1.0
(3) 特別損失	275			
損益	経常損益 純損益	-90,495 -90,590		
累積欠損金	-			
経常収支比率	92.3		103.3	101.7
医業収支比率	47.6		85.5	62.5
修正医業収支比率	44.0		82.8	57.3
他会計繰入金対経常収益比率	43.8		11.1	33.6
他会計繰入金対医業収益比率	88.9		14.1	57.9
他会計繰入金対総収益比率	43.8		11.0	33.5
実質収益対経常費用比率	51.9		91.9	67.5

備考:
「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	48,973,203
1 固定資産	34,578,029
(1) 有形固定資産	34,077,002
(2) 無形固定資産	6,901
(3) 投資その他の資産	494,126
2 流動資産	14,395,174
(1) 現金及び預金	12,401,870
(2) 未収金及び未収収益	1,984,745
(3) 貸倒引当金()	2,019
(4) 貯蔵品	10,578
3 繰延資産	-
負債合計	34,498,704
1 固定負債	22,228,325
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	21,939,759
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	253,543
(7) 一ス債務	35,023
2 流動負債	11,020,495
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	1,415,443
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	35,701
(6) リ一ス債務	19,749
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	9,543,399
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	1,249,884
(1) 長期前受金	3,460,013
(2) 長期前受金収益化累計額()	2,210,129
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-
資本合計	14,474,499
1 資本金	3,639,993
2 剰余金	10,834,506
(1) 資本剰余金	4,121,273
(2) 利益剰余金	6,713,233
負債・資本合計	48,973,203
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	403,486	477,823
資本勘定繰入	19,392	39,139
計	422,878	516,962

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和4年度	-	-
令和3年度	-	-
令和2年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	-
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和4年度)		都道府県名	
		静岡県	
市町村・組合名	沼津市		
病院名	市立病院		
施設及び業務概況等			
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ト透I未訓カ
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当
建物面積	45,309 m ²	不採算地区中核病院	非該当
診療科数	24	指定病院の状況	救臨 災地 輪
許可公営企業		看護配置	7:1
DPC対象病院	対象	経営形態	直営
		類似区分	300床以上~400床未満

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和4年度	令和3年度	令和2年度
一般	387	65.2	63.8	64.1
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	387	65.2	63.8	64.1
平均在院日数(一般病床のみ)		12.5	12.2	12.1

設立団体の状況		
人口(人)	189,386	
決算規模(千円)	87,851,541	
標準財政規模(千円)	41,402,281	
財政力指数	0.93	
経常収支比率(%)	87.3	
健全化	実質赤字比率(%)	-
判断比率	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	4.9
	将来負担比率(%)	21.8

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	11,713,859			
1 経常収益	11,713,859			
(1) 医業収益	9,628,087			
(うち修正医業収益)	8,837,087			
入院収益	6,107,606			
外来収益	2,611,263			
診療収入計	8,718,869			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	909,218			
(うち他会計負担金)	791,000			
(2) 医業外収益	2,085,772			
(うち国・都道府県補助金)	1,322,957			
(うち他会計補助・負担金)	609,446			
(うち長期前受金戻入)	34,315			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	11,337,001			
2 経常費用	11,337,001			
(1) 医業費用	10,822,489			
職員給与費	5,620,633	58.4	59.4	59.0
材料費	2,500,694	26.0	26.1	25.6
(うち薬品費)	1,096,267	11.4	14.0	13.9
(うち薬品費以外の医薬材料費)	1,400,152	14.5	11.8	11.2
減価償却費	530,178	5.5	8.7	8.6
経費	2,121,330	22.0	22.1	21.3
(うち委託料)	969,504	10.1	11.7	11.6
研究研修費	19,001			
資産減耗費	30,653			
(2) 医業外費用	514,512			
(うち支払利息)	19,079	0.2	1.0	1.1
(3) 特別損失	-			
損益	376,858			
純損益	376,858			
累積欠損金	5,766,135			
経常収支比率	103.3		103.3	104.8
医業収支比率	89.0		85.5	87.0
修正医業収支比率	81.7		82.8	84.4
他会計繰入金対経常収益比率	12.0		11.1	9.3
他会計繰入金対医業収益比率	14.5		14.1	11.8
他会計繰入金対総収益比率	12.0		11.0	9.2
実質収益対経常費用比率	91.0		91.9	95.1

備考:
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	11,372,720
1 固定資産	8,344,152
(1) 有形固定資産	8,230,813
(2) 無形固定資産	70,899
(3) 投資その他の資産	42,440
2 流動資産	3,028,568
(1) 現金及び預金	1,094,959
(2) 未収金及び未収収益	1,886,437
(3) 貸倒引当金()	14,823
(4) 貯蔵品	39,128
3 繰延資産	-
負債合計	6,699,963
1 固定負債	4,042,372
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	1,679,725
(2) その他の企業債	278,488
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	2,084,159
(7) 一ス債務	-
2 流動負債	2,332,410
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	517,455
(2) その他の企業債	22,788
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	303,642
(6) リ一ス債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	1,440,311
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	325,181
(1) 長期前受金	1,176,445
(2) 長期前受金収益化累計額()	851,264
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-
資本合計	4,672,757
1 資本金	10,438,892
2 剰余金	-5,766,135
(1) 資本剰余金	-
(2) 利益剰余金	-5,766,135
負債・資本合計	11,372,720
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	1,300,446	1,400,446
資本勘定繰入	200,000	200,000
計	1,500,446	1,600,446

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和4年度	-	-
令和3年度	-	-
令和2年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	59.9
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:
 ・修正医業収益とは、医業収益から
 その他医業収益のうち他会計負担金を
 除いたもので、修正医業収支比率とは、
 修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益の
 うち他会計負担金を除いたものと医業外収益から
 他会計補助・負担金を除いたものの合計で、
 実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に
 占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、
 「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、
 「健全化法上の資金不足額」、
 「健全化法上の資金不足比率」、
 「地財法上の資金不足額」、
 「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で
 算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の
 財政構造の弾力性を判断するための指標で、
 人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に
 支出される経費(経常的経費)に充当された
 一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする
 毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、
 減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債
 の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和4年度)				都道府県名	
				静岡県	
市町村・組合名	富士宮市				
病院名	富士宮市立病院				
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド透未訓カ		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当		
建物面積	23,298 m ²	不採算地区中核病院	非該当		
診療科数	17	指定病院の状況	救臨 災地		
許可公営企業		看護配置	7:1		
DPC対象病院	対象	経営形態	直営		
		類似区分	300床以上~400床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和4年度	令和3年度	令和2年度
一般	380	64.7	64.4	63.6
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	380	64.7	64.4	63.6
平均在院日数(一般病床のみ)		11.4	10.9	12.3

設立団体の状況		
人口(人)	128,105	
決算規模(千円)	54,495,225	
標準財政規模(千円)	27,759,179	
財政力指数	0.87	
経常収支比率(%)	92.8	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	3.1
	将来負担比率(%)	-

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	11,280,473			
1 経常収益	11,280,473			
(1) 医業収益	9,363,858			
(うち修正医業収益)	9,023,492			
入院収益	5,368,436			
外来収益	3,500,753			
診療収入計	8,869,189			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	494,669			
(うち他会計負担金)	340,366			
(2) 医業外収益	1,916,615			
(うち国・都道府県補助金)	669,598			
(うち他会計補助・負担金)	1,179,362			
(うち長期前受金戻入)	20,123			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	11,236,122			
2 経常費用	11,221,482			
(1) 医業費用	10,705,448			
職員給与費	5,455,908	58.3	59.4	59.0
材料費	2,900,601	31.0	26.1	25.6
(うち薬品費)	1,952,050	20.8	14.0	13.9
(うち薬品費以外の医薬材料費)	947,487	10.1	11.8	11.2
減価償却費	579,676	6.2	8.7	8.6
経費	1,729,747	18.5	22.1	21.3
(うち委託料)	816,866	8.7	11.7	11.6
研究研修費	19,801			
資産減耗費	19,715			
(2) 医業外費用	516,034			
(うち支払利息)	3,913	-	1.0	1.1
(3) 特別損失	14,640			
損益	58,991			
純損益	44,351			
累積欠損金	4,608,778			
経常収支比率	100.5		103.3	104.8
医業収支比率	87.5		85.5	87.0
修正医業収支比率	84.3		82.8	84.4
他会計繰入金対経常収益比率	13.5		11.1	9.3
他会計繰入金対医業収益比率	16.2		14.1	11.8
他会計繰入金対総収益比率	13.5		11.0	9.2
実質収益対経常費用比率	87.0		91.9	95.1

備考:
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	10,735,812
1 固定資産	7,374,499
(1) 有形固定資産	7,247,047
(2) 無形固定資産	2,652
(3) 投資その他の資産	124,800
2 流動資産	3,361,313
(1) 現金及び預金	1,474,659
(2) 未収金及び未収収益	1,851,298
(3) 貸倒引当金()	7,067
(4) 貯蔵品	36,013
3 繰延資産	-
負債合計	3,400,480
1 固定負債	1,715,603
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	1,439,326
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	257,331
(7) 一ス債務	18,946
2 流動負債	1,506,919
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	201,372
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	314,934
(6) リ一ス債務	4,791
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	928,636
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	177,958
(1) 長期前受金	381,011
(2) 長期前受金収益化累計額()	203,053
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-
資本合計	7,335,332
1 資本金	11,630,398
2 剰余金	-4,295,066
(1) 資本剰余金	313,712
(2) 利益剰余金	-4,608,778
負債・資本合計	10,735,812
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	1,519,728	1,519,728
資本勘定繰入	180,272	180,272
計	1,700,000	1,700,000

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和4年度	-	-
令和3年度	-	-
令和2年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	49.2
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたもの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和4年度)				都道府県名	
				静岡県	
市町村・組合名	伊東市				
病院名	伊東市民病院				
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド I 訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院			
建物面積	18,628 m ²	不採算地区中核病院	第2種該当		
診療科数	20	指定病院の状況	救臨 災地		
許可公営企業		看護配置	7:1		
DPC対象病院	対象	経営形態	指定管理者(利用料金制)		
		類似区分	200床以上~300床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和4年度	令和3年度	令和2年度
一般	250	72.1	67.9	68.3
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	250	72.1	67.9	68.3
平均在院日数(一般病床のみ)		17.6	16.7	15.6

設立団体の状況		
人口(人)	65,491	
決算規模(千円)	30,134,406	
標準財政規模(千円)	16,421,195	
財政力指数	0.68	
経常収支比率(%)	88.8	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	5.6
	将来負担比率(%)	1.6

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	438,736			
1 経常収益	438,736			
(1) 医業収益	55,000			
(うち修正医業収益)	-			
入院収益	-			
外来収益	-			
診療収入計	-			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	55,000			
(うち他会計負担金)	55,000			
(2) 医業外収益	383,736			
(うち国・都道府県補助金)	13,101			
(うち他会計補助・負担金)	249,060			
(うち長期前受金戻入)	16,183			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	375,359			
2 経常費用	375,359			
(1) 医業費用	328,276			
職員給与費	16,280	29.6	59.4	63.7
材料費	-	-	26.1	21.0
(うち薬品費)	-	-	14.0	10.6
(うち薬品費以外の医薬材料費)	-	-	11.8	10.1
減価償却費	180,332	327.9	8.7	9.7
経費	131,037	238.2	22.1	28.9
(うち委託料)	106,629	193.9	11.7	13.6
研究研修費	-			
資産減耗費	627			
(2) 医業外費用	47,083			
(うち支払利息)	47,083	85.6	1.0	1.1
(3) 特別損失	-			
経常損益	63,377			
純損益	63,377			
累積欠損金	803,075			
経常収支比率	116.9		103.3	101.8
医業収支比率	16.8		85.5	80.8
修正医業収支比率	-		82.8	77.4
他会計繰入金対経常収益比率	69.3		11.1	12.3
他会計繰入金対医業収益比率	552.8		14.1	16.5
他会計繰入金対総収益比率	69.3		11.0	12.3
実質収益対経常費用比率	35.9		91.9	89.2

備考:
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	6,260,325
1 固定資産	4,487,807
(1) 有形固定資産	4,326,128
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	161,679
2 流動資産	1,772,518
(1) 現金及び預金	1,751,137
(2) 未収金及び未収収益	1,369
(3) 貸倒引当金()	-
(4) 貯蔵品	-
3 繰延資産	-
負債合計	3,576,062
1 固定負債	2,884,914
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	2,884,914
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) 一ス債務	-
2 流動負債	199,667
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	164,205
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	1,419
(6) リ一ス債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	34,043
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	491,481
(1) 長期前受金	644,156
(2) 長期前受金収益化累計額()	152,675
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-
資本合計	2,684,263
1 資本金	3,226,778
2 剰余金	-542,515
(1) 資本剰余金	260,560
(2) 利益剰余金	-803,075
負債・資本合計	6,260,325
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実績入額
収益勘定繰入	78,739	304,060
資本勘定繰入	83,940	83,940
計	162,679	388,000

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和4年度	-	-
令和3年度	-	-
令和2年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	1460.1
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:
 ・修正医業収益とは、医業収益から
 その他医業収益のうち他会計負担金を
 除いたもので、修正医業収支比率とは、
 修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益の
 うち他会計負担金を除いたものと医業外収益から
 他会計補助・負担金を除いたものの合計で、
 実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に
 占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、
 「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、
 「健全化法上の資金不足額」、
 「健全化法上の資金不足比率」、
 「地財法上の資金不足額」、
 「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で
 算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の
 財政構造の弾力性を判断するための指標で、
 人件費、扶助費、公債費のように毎年度定期的に
 支出される経費(経常的経費)に充当された
 一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする
 毎年度定期的に収入される一般財源(経常一般財源)、
 減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債
 の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和4年度)				都道府県名	
				静岡県	
市町村・組合名	島田市				
病院名	島田市立総合医療センター				
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド透未訓ガ		
病院区分	一般病院	不採算地区病院			
建物面積	38,070 m ²	不採算地区中核病院	第2種該当		
診療科数	31	指定病院の状況	救臨感災地輪		
許可公営企業		看護配置	7:1		
DPC対象病院	対象	経営形態	直営		
		類似区分	400床以上～500床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和4年度	令和3年度	令和2年度
一般	435	80.7	79.2	77.1
療養	-	-	-	-
結核	4	15.4	4.6	-
精神	-	-	-	-
感染症	6	4.6	92.5	34.7
計	445	79.1	77.8	67.6
平均在院日数(一般病床のみ)		13.6	13.1	15.2

設立団体の状況		
人口(人)	95,719	
決算規模(千円)	45,936,883	
標準財政規模(千円)	22,965,825	
財政力指数	0.71	
経常収支比率(%)	93.3	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	5.8
	将来負担比率(%)	5.9

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	15,224,457			
1 経常収益	15,224,457			
(1) 医業収益	13,061,384			
(うち修正医業収益)	12,942,242			
入院収益	7,838,043			
外来収益	4,787,101			
診療収入計	12,625,144			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	436,240			
(うち他会計負担金)	119,142			
(2) 医業外収益	2,163,073			
(うち国・都道府県補助金)	1,274,339			
(うち他会計補助・負担金)	693,202			
(うち長期前受金戻入)	24,795			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	15,303,304			
2 経常費用	15,268,129			
(1) 医業費用	14,301,975			
職員給与費	7,085,756	54.2	59.4	57.2
材料費	3,948,056	30.2	26.1	28.0
(うち薬品費)	2,317,042	17.7	14.0	14.9
(うち薬品費以外の医薬材料費)	1,629,192	12.5	11.8	12.7
減価償却費	1,439,270	11.0	8.7	8.0
経費	1,751,162	13.4	22.1	19.0
(うち委託料)	1,020,347	7.8	11.7	10.0
研究研修費	42,901			
資産減耗費	34,830			
(2) 医業外費用	966,154			
(うち支払利息)	66,273	0.5	1.0	1.0
(3) 特別損失	35,175			
損益	-43,672			
純損益	-78,847			
累積欠損金	12,997,814			
経常収支比率	99.7		103.3	103.2
医業収支比率	91.3		85.5	88.6
修正医業収支比率	90.5		82.8	85.9
他会計繰入金対経常収益比率	5.3		11.1	9.5
他会計繰入金対医業収益比率	6.2		14.1	11.7
他会計繰入金対総収益比率	5.3		11.0	9.4
実質収益対経常費用比率	94.4		91.9	93.4

備考：
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	32,574,784
1 固定資産	24,796,469
(1) 有形固定資産	23,125,629
(2) 無形固定資産	4,436
(3) 投資その他の資産	1,666,404
2 流動資産	7,778,315
(1) 現金及び預金	4,432,967
(2) 未収金及び未収収益	3,188,966
(3) 貸倒引当金()	11,153
(4) 貯蔵品	148,796
3 繰延資産	-
負債合計	21,982,751
1 固定負債	17,145,622
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	14,973,986
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	2,170,682
(7) 一ス債務	954
2 流動負債	4,532,612
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	831,800
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	461,412
(6) リ一ス債務	2,024
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	3,232,407
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	304,517
(1) 長期前受金	569,966
(2) 長期前受金収益化累計額()	265,449
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-
資本合計	10,592,033
1 資本金	23,551,463
2 剰余金	-12,959,430
(1) 資本剰余金	37,614
(2) 利益剰余金	-12,997,044
負債・資本合計	32,574,784
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	810,832	812,344
資本勘定繰入	954,352	954,352
計	1,765,184	1,766,696

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和4年度	-	-
令和3年度	-	-
令和2年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	99.5
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたもの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和4年度)				都道府県名	
				静岡県	
市町村・組合名	富士市				
病院名	中央病院				
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	透I未訓力		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当		
建物面積	30,999 m ²	不採算地区中核病院	非該当		
診療科数	27	指定病院の状況	救臨感災地輪		
許可公営企業		看護配置	7:1		
DPC対象病院	対象	経営形態	直営		
		類似区分	500床以上		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和4年度	令和3年度	令和2年度
一般	504	69.8	71.8	69.0
療養	-	-	-	-
結核	10	-	-	0.2
精神	-	-	-	-
感染症	6	14.5	2.3	14.3
計	520	67.8	69.6	67.1
平均在院日数(一般病床のみ)		11.4	11.8	12.2

設立団体の状況		
人口(人)	245,392	
決算規模(千円)	96,023,003	
標準財政規模(千円)	51,290,360	
財政力指数	1.00	
経常収支比率(%)	89.4	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	3.3
	将来負担比率(%)	69.5

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	18,228,740			
1 経常収益	18,228,740			
(1) 医業収益	13,406,936			
(うち修正医業収益)	12,913,555			
入院収益	8,969,240			
外来収益	3,775,638			
診療収入計	12,744,878			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	662,058			
(うち他会計負担金)	493,381			
(2) 医業外収益	4,821,804			
(うち国・都道府県補助金)	3,835,896			
(うち他会計補助・負担金)	822,581			
(うち長期前受金戻入)	39,294			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	15,287,099			
2 経常費用	15,287,099			
(1) 医業費用	14,637,554			
職員給与費	8,227,730	61.4	59.4	52.8
材料費	3,609,372	26.9	26.1	31.5
(うち薬品費)	1,957,158	14.6	14.0	17.3
(うち薬品費以外の医薬材料費)	1,652,214	12.3	11.8	13.9
減価償却費	513,150	3.8	8.7	7.7
経費	2,207,648	16.5	22.1	18.0
(うち委託料)	1,220,073	9.1	11.7	10.7
研究研修費	41,573			
資産減耗費	38,081			
(2) 医業外費用	649,545			
(うち支払利息)	1,737	-	1.0	0.9
(3) 特別損失	-			
経常損益	2,941,641			
純損益	2,941,641			
累積欠損金	-			
経常収支比率	119.2		103.3	102.8
医業収支比率	91.6		85.5	90.3
修正医業収支比率	88.2		82.8	88.3
他会計繰入金対経常収益比率	7.2		11.1	7.5
他会計繰入金対医業収益比率	9.8		14.1	9.0
他会計繰入金対総収益比率	7.2		11.0	7.4
実質収益対経常費用比率	110.6		91.9	95.1

備考：「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	16,207,140
1 固定資産	6,325,388
(1) 有形固定資産	6,318,034
(2) 無形固定資産	7,334
(3) 投資その他の資産	20
2 流動資産	9,881,752
(1) 現金及び預金	6,376,693
(2) 未収金及び未収収益	3,406,390
(3) 貸倒引当金()	23,283
(4) 貯蔵品	36,839
3 繰延資産	-
負債合計	6,693,370
1 固定負債	4,011,732
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	1,152,174
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	2,859,558
(7) 一ス債務	-
2 流動負債	2,310,593
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	463,840
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	428,758
(6) リ一ス債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	1,364,456
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	371,045
(1) 長期前受金	1,154,910
(2) 長期前受金収益化累計額()	783,865
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-
資本合計	9,513,770
1 資本金	7,395,889
2 剰余金	2,117,881
(1) 資本剰余金	329,090
(2) 利益剰余金	1,788,791
負債・資本合計	16,207,140
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	1,315,962	1,315,962
資本勘定繰入	234,935	-
計	1,550,897	1,315,962

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和4年度	-	-
令和3年度	-	-
令和2年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	-
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和4年度)				都道府県名	
				静岡県	
市町村・組合名	磐田市				
病院名	磐田市立総合病院				
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド透I未訓カ		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当		
建物面積	44,318 m ²	不採算地区中核病院	非該当		
診療科数	34	指定病院の状況	救臨が感災地輪		
許可公営企業		看護配置	7:1		
DPC対象病院	対象	経営形態	直営		
		類似区分	500床以上		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和4年度	令和3年度	令和2年度
一般	498	72.0	76.0	78.7
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	2	23.7	34.4	17.5
計	500	71.8	75.9	78.5
平均在院日数(一般病床のみ)		10.4	11.3	11.3

設立団体の状況		
人口(人)	166,672	
決算規模(千円)	66,149,706	
標準財政規模(千円)	39,268,295	
財政力指数	0.80	
経常収支比率(%)	86.2	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	1.7
	将来負担比率(%)	-

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	19,220,565			
1 経常収益	19,192,865			
(1) 医業収益	16,557,212			
(うち修正医業収益)	16,287,795			
入院収益	10,370,792			
外来収益	5,423,239			
診療収入計	15,794,031			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	763,181			
(うち他会計負担金)	269,417			
(2) 医業外収益	2,635,653			
(うち国・都道府県補助金)	2,116,103			
(うち他会計補助・負担金)	287,590			
(うち長期前受金戻入)	61,359			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	27,700			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	18,971,844			
2 経常費用	18,863,296			
(1) 医業費用	17,920,726			
職員給与費	9,339,533	56.4	59.4	52.8
材料費	4,314,528	26.1	26.1	31.5
(うち薬品費)	2,593,111	15.7	14.0	17.3
(うち薬品費以外の医薬材料費)	1,718,945	10.4	11.8	13.9
減価償却費	992,691	6.0	8.7	7.7
経費	3,198,704	19.3	22.1	18.0
(うち委託料)	1,912,203	11.5	11.7	10.7
研究研修費	55,258			
資産減耗費	20,012			
(2) 医業外費用	942,570			
(うち支払利息)	151,828	0.9	1.0	0.9
(3) 特別損失	108,548			
損益	329,569			
純損益	248,721			
累積欠損金	15,247,722			
経常収支比率	101.7		103.3	102.8
医業収支比率	92.4		85.5	90.3
修正医業収支比率	90.9		82.8	88.3
他会計繰入金対経常収益比率	2.9		11.1	7.5
他会計繰入金対医業収益比率	3.4		14.1	9.0
他会計繰入金対総収益比率	2.9		11.0	7.4
実質収益対経常費用比率	98.8		91.9	95.1

備考:
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	19,530,663
1 固定資産	14,149,698
(1) 有形固定資産	13,750,150
(2) 無形固定資産	4,647
(3) 投資その他の資産	394,901
2 流動資産	5,380,965
(1) 現金及び預金	1,873,666
(2) 未収金及び未収収益	3,447,917
(3) 貸倒引当金()	18,169
(4) 貯蔵品	77,551
3 繰延資産	-
負債合計	13,138,894
1 固定負債	8,550,846
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	6,299,846
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	2,151,000
(7) 一ス債務	-
2 流動負債	3,704,000
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	1,805,067
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	508,467
(6) リ一ス債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	1,390,266
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	884,048
(1) 長期前受金	1,983,899
(2) 長期前受金収益化累計額()	1,099,851
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-
資本合計	6,391,769
1 資本金	21,639,491
2 剰余金	-15,247,722
(1) 資本剰余金	-
(2) 利益剰余金	-15,247,722
負債・資本合計	19,530,663
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	1,112,036	557,007
資本勘定繰入	1,245,631	1,211,364
計	2,357,667	1,768,371

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和4年度	-	-
令和3年度	-	-
令和2年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	92.1
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和4年度)				都道府県名	
				静岡県	
市町村・組合名	焼津市				
病院名	焼津市立総合病院				
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド透未訓カ		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当		
建物面積	33,220 m ²	不採算地区中核病院	非該当		
診療科数	29	指定病院の状況	救臨 災地 輪		
許可公営企業		看護配置	7:1		
DPC対象病院	対象	経営形態	直営		
		類似区分	400床以上～500床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%)・日				
区分	病床数	令和4年度	令和3年度	令和2年度
一般	471	67.6	70.3	71.1
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	471	67.6	70.3	71.1
平均在院日数(一般病床のみ)		12.6	11.6	11.8

設立団体の状況		
人口(人)	136,845	
決算規模(千円)	60,378,568	
標準財政規模(千円)	28,233,163	
財政力指数	0.85	
経常収支比率(%)	91.2	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	6.4
	将来負担比率(%)	-

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	14,820,194			
1 経常収益	14,820,194			
(1) 医業収益	12,336,649			
(うち修正医業収益)	11,940,938			
入院収益	7,615,544			
外来収益	4,104,794			
診療収入計	11,720,338			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	616,311			
(うち他会計負担金)	395,711			
(2) 医業外収益	2,483,545			
(うち国・都道府県補助金)	1,175,166			
(うち他会計補助・負担金)	823,118			
(うち長期前受金戻入)	80,936			
(うち資本費繰入収益)	315,846			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	14,457,501			
2 経常費用	14,398,310			
(1) 医業費用	13,648,999			
職員給与費	8,045,714	65.2	59.4	57.2
材料費	3,020,419	24.5	26.1	28.0
(うち薬品費)	1,811,647	14.7	14.0	14.9
(うち薬品費以外の医薬材料費)	1,140,821	9.2	11.8	12.7
減価償却費	688,605	5.6	8.7	8.0
経費	1,840,671	14.9	22.1	19.0
(うち委託料)	1,078,398	8.7	11.7	10.0
研究研修費	36,646			
資産減耗費	16,944			
(2) 医業外費用	749,311			
(うち支払利息)	5,656	-	1.0	1.0
(3) 特別損失	59,191			
損益	421,884			
純損益	362,693			
累積欠損金	9,276,218			
経常収支比率	102.9		103.3	103.2
医業収支比率	90.4		85.5	88.6
修正医業収支比率	87.5		82.8	85.9
他会計繰入金対経常収益比率	8.2		11.1	9.5
他会計繰入金対医業収益比率	9.9		14.1	11.7
他会計繰入金対総収益比率	8.2		11.0	9.4
実質収益対経常費用比率	94.5		91.9	93.4

備考：
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	10,927,481
1 固定資産	5,582,285
(1) 有形固定資産	5,005,026
(2) 無形固定資産	9,691
(3) 投資その他の資産	567,568
2 流動資産	5,345,196
(1) 現金及び預金	2,489,948
(2) 未収金及び未収収益	2,784,168
(3) 貸倒引当金()	5,087
(4) 貯蔵品	76,167
3 繰延資産	-
負債合計	7,425,595
1 固定負債	4,192,257
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	788,300
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	3,403,957
(7) 一ス債務	-
2 流動負債	2,717,852
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	634,340
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	465,092
(6) リ一ス債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	1,554,810
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	515,486
(1) 長期前受金	1,474,942
(2) 長期前受金収益化累計額()	959,456
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-
資本合計	3,501,886
1 資本金	12,688,777
2 剰余金	-9,186,891
(1) 資本剰余金	89,327
(2) 利益剰余金	-9,276,218
負債・資本合計	10,927,481
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	1,120,087	1,218,829
資本勘定繰入	412,782	414,482
計	1,532,869	1,633,311

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和4年度	-	-
令和3年度	-	-
令和2年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	75.2
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：
 ・修正医業収益とは、医業収益から
 その他医業収益のうち他会計負担金を
 除いたもので、修正医業収支比率とは、
 修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益の
 うち他会計負担金を除いたものと医業外収益から
 他会計補助・負担金を除いたものの合計で、
 実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に
 占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、
 「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、
 「健全化法上の資金不足額」、
 「健全化法上の資金不足比率」、
 「地財法上の資金不足額」、
 「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で
 算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の
 財政構造の弾力性を判断するための指標で、
 人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に
 支出される経費(経常的経費)に充当された
 一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする
 毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、
 減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債
 の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和4年度)		都道府県名	
		静岡県	
市町村・組合名	藤枝市		
病院名	藤枝市立総合病院		
施設及び業務概況等			
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド透I未訓力
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当
建物面積	57,940 m ²	不採算地区中核病院	非該当
診療科数	35	指定病院の状況	救臨が 災地 輪
許可公営企業		看護配置	7:1
DPC対象病院	対象	経営形態	直営
		類似区分	500床以上

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和4年度	令和3年度	令和2年度
一般	564	74.7	74.0	72.5
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	564	74.7	74.0	72.5
平均在院日数(一般病床のみ)		11.5	11.8	12.9

設立団体の状況		
人口(人)	141,342	
決算規模(千円)	55,808,756	
標準財政規模(千円)	29,488,593	
財政力指数	0.84	
経常収支比率(%)	88.7	
健全化	実質赤字比率(%)	-
判断比率	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	5.5
	将来負担比率(%)	-

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	22,514,321			
1 経常収益	21,653,659			
(1) 医業収益	18,879,141			
(うち修正医業収益)	18,230,241			
入院収益	10,709,479			
外来収益	7,173,108			
診療収入計	17,882,587			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	996,554			
(うち他会計負担金)	648,900			
(2) 医業外収益	2,774,518			
(うち国・都道府県補助金)	1,932,486			
(うち他会計補助・負担金)	680,000			
(うち長期前受金戻入)	85,768			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	860,662			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	20,303,703			
2 経常費用	20,303,703			
(1) 医業費用	19,186,575			
職員給与費	9,991,646	52.9	59.4	52.8
材料費	5,676,812	30.1	26.1	31.5
(うち薬品費)	3,894,384	20.6	14.0	17.3
(うち薬品費以外の医薬材料費)	1,686,771	8.9	11.8	13.9
減価償却費	903,305	4.8	8.7	7.7
経費	2,549,064	13.5	22.1	18.0
(うち委託料)	1,449,440	7.7	11.7	10.7
研究研修費	56,422			
資産減耗費	9,326			
(2) 医業外費用	1,117,128			
(うち支払利息)	130,185	0.7	1.0	0.9
(3) 特別損失	-			
経常損益	1,349,956			
純損益	2,210,618			
累積欠損金	9,739,484			
経常収支比率	106.6		103.3	102.8
医業収支比率	98.4		85.5	90.3
修正医業収支比率	95.0		82.8	88.3
他会計繰入金対経常収益比率	6.1		11.1	7.5
他会計繰入金対医業収益比率	7.0		14.1	9.0
他会計繰入金対総収益比率	5.9		11.0	7.4
実質収益対経常費用比率	100.1		91.9	95.1

備考:
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	23,463,719
1 固定資産	13,975,139
(1) 有形固定資産	13,519,568
(2) 無形固定資産	8,246
(3) 投資その他の資産	447,325
2 流動資産	9,488,580
(1) 現金及び預金	6,143,816
(2) 未収金及び未収収益	3,246,186
(3) 貸倒引当金()	2,200
(4) 貯蔵品	98,528
3 繰延資産	-
負債合計	12,955,704
1 固定負債	8,099,113
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	3,913,620
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	1,700,000
(6) 引当金	2,485,493
(7) 一ス債務	-
2 流動負債	3,946,960
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	1,489,391
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	40,000
(5) 引当金	537,000
(6) リ一ス債務	5,285
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	1,792,256
(9) 前受金及び前受収益	1,900
3 繰延収益	909,631
(1) 長期前受金	2,751,003
(2) 長期前受金収益化累計額()	1,841,372
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-
資本合計	10,508,015
1 資本金	20,239,103
2 剰余金	-9,731,088
(1) 資本剰余金	8,396
(2) 利益剰余金	-9,739,484
負債・資本合計	23,463,719
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	1,445,828	1,328,900
資本勘定繰入	864,300	591,100
計	2,310,128	1,920,000

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和4年度	-	-
令和3年度	-	-
令和2年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	51.6
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたもの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和4年度)		都道府県名 静岡県	
市町村・組合名	袋井市		
病院名	袋井市民病院		
施設及び業務概況等			
法適用区分		特殊診療機能	
病院区分		不採算地区病院	
建物面積	- m ²	不採算地区中核病院	
診療科数	-	指定病院の状況	
許可公営企業		看護配置	
DPC対象病院	-	経営形態	直営
		類似区分	50床未満

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	令和4年度	令和3年度	令和2年度
一般	-	-	-	-
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	-	-	-	-
平均在院日数(一般病床のみ)		-	-	-

設立団体の状況		
人口(人)	87,864	
決算規模(千円)	37,837,204	
標準財政規模(千円)	20,447,591	
財政力指数	0.83	
経常収支比率(%)	89.1	
健全化	実質赤字比率(%)	-
判断比率	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	5.2
	将来負担比率(%)	45.3

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	-			
1 経常収益	-			
(1) 医業収益	-			
(うち修正医業収益)	-			
入院収益	-			
外来収益	-			
診療収入計	-			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	-			
(うち他会計負担金)	-			
(2) 医業外収益	-			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	-			
(うち長期前受金戻入)	-			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	-			
2 経常費用	-			
(1) 医業費用	-			
職員給与費	-	-	59.4	87.7
材料費	-	-	26.1	13.6
(うち薬品費)	-	-	14.0	7.0
(うち薬品費以外の医薬材料費)	-	-	11.8	5.9
減価償却費	-	-	8.7	12.7
経費	-	-	22.1	45.1
(うち委託料)	-	-	11.7	21.3
研究研修費	-			
資産減耗費	-			
(2) 医業外費用	-			
(うち支払利息)	-	-	1.0	1.0
(3) 特別損失	-			
経常損益	-			
純損益	-			
累積欠損金	-			
経常収支比率	-		103.3	101.7
医業収支比率	-		85.5	62.5
修正医業収支比率	-		82.8	57.3
他会計繰入金対経常収益比率	-		11.1	33.6
他会計繰入金対医業収益比率	-		14.1	57.9
他会計繰入金対総収益比率	-		11.0	33.5
実質収益対経常費用比率	-		91.9	67.5

備考:
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	-
1 固定資産	-
(1) 有形固定資産	-
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	-
(1) 現金及び預金	-
(2) 未収金及び未収収益	-
(3) 貸倒引当金()	-
(4) 貯蔵品	-
3 繰延資産	-
負債合計	-
1 固定負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) リース債務	-
2 流動負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	-
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	-
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	-
(1) 長期前受金	-
(2) 長期前受金収益化累計額()	-
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-
資本合計	-
1 資本金	-
2 剰余金	-
(1) 資本剰余金	-
(2) 利益剰余金	-
負債・資本合計	-
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	-	-
資本勘定繰入	-	-
計	-	-

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和4年度	-	-
令和3年度	-	-
令和2年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	-
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:
 ・修正医業収益とは、医業収益から
 その他医業収益のうち他会計負担金を
 除いたもので、修正医業収支比率とは、
 修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益の
 うち他会計負担金を除いたものと医業外収益から
 他会計補助・負担金を除いたものの合計で、
 実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に
 占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、
 「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、
 「健全化法上の資金不足額」、
 「健全化法上の資金不足比率」、
 「地財法上の資金不足額」、
 「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で
 算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の
 財政構造の弾力性を判断するための指標で、
 人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に
 支出される経費(経常的経費)に充当された
 一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする
 毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、
 減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債
 の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和4年度)				都道府県名	
				静岡県	
市町村・組合名	袋井市				
病院名	聖隷袋井市民病院				
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当		
建物面積	10,399 m ²	不採算地区中核病院	非該当		
診療科数	5	指定病院の状況			
許可公営企業		看護配置	15:1		
DPC対象病院	-	経営形態	指定管理者(代行制)		
		類似区分	100床以上~200床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和4年度	令和3年度	令和2年度
一般	100	82.1	81.7	81.3
療養	50	84.9	86.2	89.3
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	150	83.0	83.2	84.0
平均在院日数(一般病床のみ)		47.4	46.7	47.7

設立団体の状況		
人口(人)	87,864	
決算規模(千円)	37,837,204	
標準財政規模(千円)	20,447,591	
財政力指数	0.83	
経常収支比率(%)	89.1	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	5.2
	将来負担比率(%)	45.3

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	1,795,503			
1 経常収益	1,770,063			
(1) 医業収益	1,462,835			
(うち修正医業収益)	1,462,835			
入院収益	1,258,286			
外来収益	92,307			
診療収入計	1,350,593			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	112,242			
(うち他会計負担金)	-			
(2) 医業外収益	307,228			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	245,436			
(うち長期前受金戻入)	9,454			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	25,440			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	1,789,998			
2 経常費用	1,760,291			
(1) 医業費用	1,752,683			
職員給与費	7,342	0.5	59.4	67.0
材料費	-	-	26.1	18.2
(うち薬品費)	-	-	14.0	8.3
(うち薬品費以外の医薬材料費)	-	-	11.8	9.4
減価償却費	78,805	5.4	8.7	10.2
経費	1,666,358	113.9	22.1	28.8
(うち委託料)	17,211	1.2	11.7	13.2
研究研修費	-			
資産減耗費	178			
(2) 医業外費用	7,608			
(うち支払利息)	766	0.1	1.0	1.1
(3) 特別損失	29,707			
損益	9,772			
純損益	5,505			
累積欠損金	-			
経常収支比率	100.6		103.3	104.5
医業収支比率	83.5		85.5	80.1
修正医業収支比率	83.5		82.8	76.0
他会計繰入金対経常収益比率	13.9		11.1	15.0
他会計繰入金対医業収益比率	16.8		14.1	20.8
他会計繰入金対総収益比率	13.7		11.0	15.1
実質収益対経常費用比率	86.6		91.9	88.8

備考:
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	1,366,334
1 固定資産	1,034,173
(1) 有形固定資産	974,312
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	59,861
2 流動資産	332,161
(1) 現金及び預金	82,969
(2) 未収金及び未収収益	253,488
(3) 貸倒引当金()	4,296
(4) 貯蔵品	-
3 繰延資産	-
負債合計	716,957
1 固定負債	225,220
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	221,884
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	3,336
(7) 一ス債務	-
2 流動負債	290,926
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	143,181
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	609
(6) リ一ス債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	147,136
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	200,811
(1) 長期前受金	296,087
(2) 長期前受金収益化累計額()	95,276
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-
資本合計	649,377
1 資本金	484,500
2 剰余金	164,877
(1) 資本金剰余金	-
(2) 利益剰余金	164,877
負債・資本合計	1,366,334
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	383	245,436
資本勘定繰入	79,623	79,500
計	80,006	324,936

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和4年度	-	-
令和3年度	-	-
令和2年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	-
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和4年度)				都道府県名	
				静岡県	
市町村・組合名	湖西市				
病院名	市立湖西病院				
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド透		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当		
建物面積	12,962 m ²	不採算地区中核病院	非該当		
診療科数	20	指定病院の状況	救		
許可公営企業		看護配置	7:1		
DPC対象病院	-	経営形態	直営		
		類似区分	100床以上~200床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和4年度	令和3年度	令和2年度
一般	196	26.0	26.8	31.6
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	196	26.0	26.8	31.6
平均在院日数(一般病床のみ)		16.0	16.1	15.3

設立団体の状況		
人口(人)	57,885	
決算規模(千円)	25,718,967	
標準財政規模(千円)	13,274,818	
財政力指数	1.00	
経常収支比率(%)	84.2	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	4.9
	将来負担比率(%)	3.4

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	3,256,969			
1 経常収益	3,236,740			
(1) 医業収益	2,151,102			
(うち修正医業収益)	1,973,549			
入院収益	753,999			
外来収益	927,014			
診療収入計	1,681,013			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	470,089			
(うち他会計負担金)	177,553			
(2) 医業外収益	1,085,638			
(うち国・都道府県補助金)	282,410			
(うち他会計補助・負担金)	688,595			
(うち長期前受金戻入)	102,616			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	20,229			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	3,000,103			
2 経常費用	2,997,827			
(1) 医業費用	2,885,781			
職員給与費	1,591,256	74.0	59.4	67.0
材料費	271,612	12.6	26.1	18.2
(うち薬品費)	98,390	4.6	14.0	8.3
(うち薬品費以外の医薬材料費)	172,901	8.0	11.8	9.4
減価償却費	172,710	8.0	8.7	10.2
経費	789,595	36.7	22.1	28.8
(うち委託料)	441,001	20.5	11.7	13.2
研究研修費	3,621			
資産減耗費	56,987			
(2) 医業外費用	112,046			
(うち支払利息)	3,424	0.2	1.0	1.1
(3) 特別損失	2,276			
損益	238,913			
純損益	256,866			
累積欠損金	-			
経常収支比率	108.0		103.3	104.5
医業収支比率	74.5		85.5	80.1
修正医業収支比率	68.4		82.8	76.0
他会計繰入金対経常収益比率	26.8		11.1	15.0
他会計繰入金対医業収益比率	40.3		14.1	20.8
他会計繰入金対総収益比率	26.6		11.0	15.1
実質収益対経常費用比率	79.1		91.9	88.8

備考:
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	4,868,039
1 固定資産	3,440,393
(1) 有形固定資産	3,358,982
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	81,411
2 流動資産	1,427,646
(1) 現金及び預金	1,089,695
(2) 未収金及び未収収益	317,421
(3) 貸倒引当金()	1,858
(4) 貯蔵品	21,857
3 繰延資産	-
負債合計	2,241,000
1 固定負債	766,710
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	532,862
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	49,437
(7) 一ス債務	184,411
2 流動負債	547,008
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	122,012
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	96,290
(6) リ一ス債務	59,169
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	266,178
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	927,282
(1) 長期前受金	3,226,265
(2) 長期前受金収益化累計額()	2,298,983
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-
資本合計	2,627,039
1 資本金	1,622,323
2 剰余金	1,004,716
(1) 資本剰余金	-
(2) 利益剰余金	1,004,716
負債・資本合計	4,868,039
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	351,148	866,148
資本勘定繰入	61,730	61,730
計	412,878	927,878

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和4年度	-	-
令和3年度	-	-
令和2年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	-
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和4年度)				都道府県名	
				静岡県	
市町村・組合名	御前崎市				
病院名	市立御前崎総合病院				
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド透訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当		
建物面積	19,523 m ²	不採算地区中核病院	非該当		
診療科数	15	指定病院の状況	救臨		
許可公営企業		看護配置	7:1		
DPC対象病院	対象	経営形態	直営		
		類似区分	100床以上～200床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和4年度	令和3年度	令和2年度
一般	145	70.3	77.1	78.8
療養	54	80.4	82.8	87.1
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	199	73.0	78.6	81.1
平均在院日数(一般病床のみ)		16.3	16.4	16.9

設立団体の状況		
人口(人)	31,103	
決算規模(千円)	15,856,549	
標準財政規模(千円)	8,824,529	
財政力指数	0.94	
経常収支比率(%)	88.1	
健全化	実質赤字比率(%)	-
判断比率	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	0.1
	将来負担比率(%)	-

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	5,312,915			
1 経常収益	5,307,892			
(1) 医業収益	3,830,699			
(うち修正医業収益)	3,721,499			
入院収益	2,077,586			
外来収益	1,360,487			
診療収入計	3,438,073			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	392,626			
(うち他会計負担金)	109,200			
(2) 医業外収益	1,477,193			
(うち国・都道府県補助金)	193,454			
(うち他会計補助・負担金)	876,890			
(うち長期前受金戻入)	108,333			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	5,023			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	5,607,730			
2 経常費用	5,583,571			
(1) 医業費用	4,968,242			
職員給与費	2,818,073	73.6	59.4	67.0
材料費	738,024	19.3	26.1	18.2
(うち薬品費)	439,843	11.5	14.0	8.3
(うち薬品費以外の医薬材料費)	296,564	7.7	11.8	9.4
減価償却費	429,268	11.2	8.7	10.2
経費	959,110	25.0	22.1	28.8
(うち委託料)	615,726	16.1	11.7	13.2
研究研修費	14,667			
資産減耗費	9,100			
(2) 医業外費用	615,329			
(うち支払利息)	3,082	0.1	1.0	1.1
(3) 特別損失	24,159			
損益	経常損益	-275,679		
	純損益	-294,815		
累積欠損金	237,805			
経常収支比率	95.1		103.3	104.5
医業収支比率	77.1		85.5	80.1
修正医業収支比率	74.9		82.8	76.0
他会計繰入金対経常収益比率	18.6		11.1	15.0
他会計繰入金対医業収益比率	25.7		14.1	20.8
他会計繰入金対総収益比率	18.6		11.0	15.1
実質収益対経常費用比率	77.4		91.9	88.8

備考：
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	7,145,159
1 固定資産	5,082,760
(1) 有形固定資産	4,850,212
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	232,548
2 流動資産	2,062,399
(1) 現金及び預金	1,336,343
(2) 未収金及び未収収益	652,964
(3) 貸倒引当金()	4,620
(4) 貯蔵品	76,457
3 繰延資産	-
負債合計	2,952,284
1 固定負債	1,155,478
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	1,042,463
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	94,274
(7) 一時的借入金	18,741
2 流動負債	548,160
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	98,279
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	177,500
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	246,769
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	1,248,646
(1) 長期前受金	4,901,460
(2) 長期前受金収益化累計額()	3,652,814
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-
資本合計	4,192,875
1 資本金	4,430,680
2 剰余金	-237,805
(1) 資本剰余金	-
(2) 利益剰余金	-237,805
負債・資本合計	7,145,159
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実績入額
収益勘定繰入	414,290	986,090
資本勘定繰入	20,000	20,000
計	434,290	1,006,090

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和4年度	-	-
令和3年度	-	-
令和2年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	6.2
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：
 ・修正医業収益とは、医業収益から
 その他医業収益のうち他会計負担金を
 除いたもので、修正医業収支比率とは、
 修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益の
 うち他会計負担金を除いたものと医業外収益から
 他会計補助・負担金を除いたものの合計で、
 実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に
 占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、
 「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、
 「健全化法上の資金不足額」、
 「健全化法上の資金不足比率」、
 「地財法上の資金不足額」、
 「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で
 算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の
 財政構造の弾力性を判断するための指標で、
 人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に
 支出される経費(経常的経費)に充当された
 一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする
 毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、
 減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債
 の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和4年度)				都道府県名	
				静岡県	
市町村・組合名	菊川市				
病院名	菊川市立総合病院				
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド透訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当		
建物面積	17,452 m ²	不採算地区中核病院	非該当		
診療科数	15	指定病院の状況	救臨 輪		
許可公営企業		看護配置	7:1		
DPC対象病院	対象	経営形態	直営		
		類似区分	200床以上～300床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和4年度	令和3年度	令和2年度
一般	202	67.9	71.2	69.6
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	58	48.1	53.2	53.7
感染症	-	-	-	-
計	260	63.5	67.2	66.1
平均在院日数(一般病床のみ)		15.7	16.5	14.4

設立団体の状況		
人口(人)	47,789	
決算規模(千円)	20,973,984	
標準財政規模(千円)	12,112,112	
財政力指数	0.72	
経常収支比率(%)	89.4	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	9.3
	将来負担比率(%)	-

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	5,921,117			
1 経常収益	5,921,117			
(1) 医業収益	4,599,752			
(うち修正医業収益)	4,420,905			
入院収益	2,775,151			
外来収益	1,357,951			
診療収入計	4,133,102			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	466,650			
(うち他会計負担金)	178,847			
(2) 医業外収益	1,321,365			
(うち国・都道府県補助金)	530,333			
(うち他会計補助・負担金)	700,217			
(うち長期前受金戻入)	40,856			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	5,665,375			
2 経常費用	5,638,923			
(1) 医業費用	5,352,098			
職員給与費	3,152,512	68.5	59.4	63.7
材料費	714,652	15.5	26.1	21.0
(うち薬品費)	284,752	6.2	14.0	10.6
(うち薬品費以外の医薬材料費)	389,860	8.5	11.8	10.1
減価償却費	265,764	5.8	8.7	9.7
経費	1,192,325	25.9	22.1	28.9
(うち委託料)	683,257	14.9	11.7	13.6
研究研修費	13,959			
資産減耗費	12,886			
(2) 医業外費用	286,825			
(うち支払利息)	58,142	1.3	1.0	1.1
(3) 特別損失	26,452			
損益	282,194			
純損益	255,742			
累積欠損金	3,343,194			
経常収支比率	105.0		103.3	101.8
医業収支比率	85.9		85.5	80.8
修正医業収支比率	82.6		82.8	77.4
他会計繰入金対経常収益比率	14.8		11.1	12.3
他会計繰入金対医業収益比率	19.1		14.1	16.5
他会計繰入金対総収益比率	14.8		11.0	12.3
実質収益対経常費用比率	89.4		91.9	89.2

備考：「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	6,651,675
1 固定資産	5,556,075
(1) 有形固定資産	5,367,450
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	188,625
2 流動資産	1,095,600
(1) 現金及び預金	48,315
(2) 未収金及び未収収益	1,029,383
(3) 貸倒引当金()	412
(4) 貯蔵品	18,314
3 繰延資産	-
負債合計	4,182,766
1 固定負債	2,573,764
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	2,520,522
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	52,514
(7) 一ス債務	728
2 流動負債	1,009,370
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	540,660
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	196,196
(6) リ一ス債務	1,742
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	270,772
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	599,632
(1) 長期前受金	1,302,411
(2) 長期前受金収益化累計額()	702,779
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-
資本合計	2,468,909
1 資本金	5,812,103
2 剰余金	-3,343,194
(1) 資本剰余金	-
(2) 利益剰余金	-3,343,194
負債・資本合計	6,651,675
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	660,356	879,064
資本勘定繰入	341,157	270,936
計	1,001,513	1,150,000

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和4年度	-	-
令和3年度	-	-
令和2年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	72.7
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和4年度)				都道府県名	
				静岡県	
市町村・組合名	森町				
病院名	公立森町病院				
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド	訓	
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第2種該当		
建物面積	9,766 m ²	不採算地区中核病院			
診療科数	13	指定病院の状況	救		
許可公営企業		看護配置	10:1		
DPC対象病院	対象	経営形態	直営		
		類似区分	100床以上~200床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和4年度	令和3年度	令和2年度
一般	131	66.2	68.3	76.2
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	131	66.2	68.3	76.2
平均在院日数(一般病床のみ)		20.7	20.9	20.4

設立団体の状況	
人口(人)	17,457
決算規模(千円)	9,930,548
標準財政規模(千円)	5,443,890
財政力指数	0.55
経常収支比率(%)	91.8
健全化 判断比率	実質赤字比率(%) 連結実質赤字比率(%) 実質公債費比率(%) 将来負担比率(%)
	- - 12.5 19.6

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	2,759,345			
1 経常収益	2,756,345			
(1) 医業収益	2,215,534			
(うち修正医業収益)	2,193,636			
入院収益	1,215,885			
外来収益	770,150			
診療収入計	1,986,035			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	229,499			
(うち他会計負担金)	21,898			
(2) 医業外収益	540,811			
(うち国・都道府県補助金)	144,931			
(うち他会計補助・負担金)	269,227			
(うち長期前受金戻入)	15,577			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	3,000			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	2,852,576			
2 経常費用	2,842,262			
(1) 医業費用	2,637,293			
職員給与費	1,585,086	71.5	59.4	67.0
材料費	224,106	10.1	26.1	18.2
(うち薬品費)	117,787	5.3	14.0	8.3
(うち薬品費以外の医薬材料費)	106,319	4.8	11.8	9.4
減価償却費	151,459	6.8	8.7	10.2
経費	670,080	30.2	22.1	28.8
(うち委託料)	361,956	16.3	11.7	13.2
研究研修費	4,377			
資産減耗費	2,185			
(2) 医業外費用	204,969			
(うち支払利息)	32,530	1.5	1.0	1.1
(3) 特別損失	10,314			
損益	経常損益	-85,917		
	純損益	-93,231		
累積欠損金	2,977,041			
経常収支比率	97.0		103.3	104.5
医業収支比率	84.0		85.5	80.1
修正医業収支比率	83.2		82.8	76.0
他会計繰入金対経常収益比率	10.6		11.1	15.0
他会計繰入金対医業収益比率	13.1		14.1	20.8
他会計繰入金対総収益比率	10.6		11.0	15.1
実質収益対経常費用比率	86.7		91.9	88.8

備考:
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	3,688,863
1 固定資産	3,118,712
(1) 有形固定資産	3,088,378
(2) 無形固定資産	284
(3) 投資その他の資産	30,050
2 流動資産	570,151
(1) 現金及び預金	68,244
(2) 未収金及び未収収益	496,860
(3) 貸倒引当金()	7,189
(4) 貯蔵品	12,236
3 繰延資産	-
負債合計	2,031,365
1 固定負債	1,096,039
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	1,066,407
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	29,632
(7) 一ス債務	-
2 流動負債	574,551
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	346,474
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	118,479
(6) リ一ス債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	99,432
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	360,775
(1) 長期前受金	716,152
(2) 長期前受金収益化累計額()	355,377
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-
資本合計	1,657,498
1 資本金	4,634,539
2 剰余金	-2,977,041
(1) 資本剰余金	-
(2) 利益剰余金	-2,977,041
負債・資本合計	3,688,863
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	497,159	291,125
資本勘定繰入	209,251	208,875
計	706,410	500,000

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和4年度	-	-
令和3年度	-	-
令和2年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	134.4
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和4年度)		都道府県名	
		静岡県	
市町村・組合名	共立蒲原総合病院組合(事業会計分)		
病院名	共立蒲原総合病院		
施設及び業務概況等			
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド透I訓
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当
建物面積	21,651 m ²	不採算地区中核病院	非該当
診療科数	21	指定病院の状況	救
許可公営企業		看護配置	7:1
DPC対象病院	対象	経営形態	直営
		類似区分	200床以上~300床未満

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和4年度	令和3年度	令和2年度
一般	175	62.5	61.8	64.4
療養	92	95.9	94.8	97.5
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	267	74.0	73.1	75.8
平均在院日数(一般病床のみ)		13.3	11.2	11.2

設立団体の状況	
人口(人)	-
決算規模(千円)	-
標準財政規模(千円)	-
財政力指数	-
経常収支比率(%)	-
健全化判断比率	実質赤字比率(%)
	連結実質赤字比率(%)
	実質公債費比率(%)
	将来負担比率(%)

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	5,467,381			
1 経常収益	5,467,381			
(1) 医業収益	3,847,931			
(うち修正医業収益)	3,592,809			
入院収益	2,459,993			
外来収益	1,047,478			
診療収入計	3,507,471			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	340,460			
(うち他会計負担金)	255,122			
(2) 医業外収益	1,619,450			
(うち国・都道府県補助金)	214,001			
(うち他会計補助・負担金)	622,697			
(うち長期前受金戻入)	52,158			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	5,467,381			
2 経常費用	5,467,381			
(1) 医業費用	4,339,490			
職員給与費	2,763,921	71.8	59.4	63.7
材料費	549,834	14.3	26.1	21.0
(うち薬品費)	234,901	6.1	14.0	10.6
(うち薬品費以外の医薬材料費)	314,933	8.2	11.8	10.1
減価償却費	386,221	10.0	8.7	9.7
経費	626,811	16.3	22.1	28.9
(うち委託料)	324,679	8.4	11.7	13.6
研究研修費	6,827			
資産減耗費	5,876			
(2) 医業外費用	1,127,891			
(うち支払利息)	21,586	0.6	1.0	1.1
(3) 特別損失	-			
経常損益	-			
純損益	-			
累積欠損金	-			
経常収支比率	100.0		103.3	101.8
医業収支比率	88.7		85.5	80.8
修正医業収支比率	82.8		82.8	77.4
他会計繰入金対経常収益比率	16.1		11.1	12.3
他会計繰入金対医業収益比率	22.8		14.1	16.5
他会計繰入金対総収益比率	16.1		11.0	12.3
実質収益対経常費用比率	83.9		91.9	89.2

備考:
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	5,957,268
1 固定資産	4,282,337
(1) 有形固定資産	4,141,810
(2) 無形固定資産	63,647
(3) 投資その他の資産	76,880
2 流動資産	1,674,931
(1) 現金及び預金	640,965
(2) 未収金及び未収収益	988,328
(3) 貸倒引当金()	1,441
(4) 貯蔵品	29,297
3 繰延資産	-
負債合計	1,972,423
1 固定負債	829,796
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	829,796
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) 一ス債務	-
2 流動負債	734,526
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	277,848
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	199,779
(6) リ一ス債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	228,654
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	408,101
(1) 長期前受金	1,536,933
(2) 長期前受金収益化累計額()	1,128,832
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-
資本合計	3,984,845
1 資本金	3,866,316
2 剰余金	118,529
(1) 資本金剰余金	35,529
(2) 利益剰余金	83,000
負債・資本合計	5,957,268
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	652,806	877,819
資本勘定繰入	209,736	-
計	862,542	877,819

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和4年度	-	-
令和3年度	-	-
令和2年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	-
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:
 ・修正医業収益とは、医業収益から
 その他医業収益のうち他会計負担金を
 除いたもので、修正医業収支比率とは、
 修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益の
 うち他会計負担金を除いたものと医業外収益から
 他会計補助・負担金を除いたもの合計で、
 実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に
 占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、
 「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、
 「健全化法上の資金不足額」、
 「健全化法上の資金不足比率」、
 「地財法上の資金不足額」、
 「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で
 算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の
 財政構造の弾力性を判断するための指標で、
 人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に
 支出される経費(経常的経費)に充当された
 一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする
 毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、
 減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債
 の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和4年度)				都道府県名 静岡県	
市町村・組合名	榛原総合病院組合(事業会計分)				
病院名	榛原総合病院				
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド透訓力		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当		
建物面積	37,565 m ²	不採算地区中核病院	非該当		
診療科数	27	指定病院の状況	救臨 輪		
許可公営企業		看護配置	7:1		
DPC対象病院	対象	経営形態	指定管理者(利用料金制)		
		類似区分	400床以上~500床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和4年度	令和3年度	令和2年度
一般	355	52.7	50.0	47.1
療養	42	97.1	98.8	98.8
結核	-	-	-	-
精神	53	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	450	50.6	48.6	46.4
平均在院日数(一般病床のみ)		15.0	14.8	16.9

設立団体の状況	
人口(人)	-
決算規模(千円)	-
標準財政規模(千円)	-
財政力指数	-
経常収支比率(%)	-
健全化判断比率	実質赤字比率(%)
	連結実質赤字比率(%)
	実質公債費比率(%)
	将来負担比率(%)

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	976,011			
1 経常収益	976,011			
(1) 医業収益	180,426			
(うち修正医業収益)	21,390			
入院収益	-			
外来収益	-			
診療収入計	-			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	180,426			
(うち他会計負担金)	159,036			
(2) 医業外収益	795,585			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	621,422			
(うち長期前受金戻入)	28,582			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	1,057,074			
2 経常費用	1,057,074			
(1) 医業費用	816,517			
職員給与費	27,027	15.0	59.4	57.2
材料費	-	-	26.1	28.0
(うち薬品費)	-	-	14.0	14.9
(うち薬品費以外の医薬材料費)	-	-	11.8	12.7
減価償却費	264,814	146.8	8.7	8.0
経費	506,402	280.7	22.1	19.0
(うち委託料)	57,466	31.9	11.7	10.0
研究研修費	210			
資産減耗費	18,064			
(2) 医業外費用	240,557			
(うち支払利息)	133,606	74.1	1.0	1.0
(3) 特別損失	-			
経常損失	-81,063			
純損失	-81,063			
累積欠損金	14,005,559			
経常収支比率	92.3		103.3	103.2
医業収支比率	22.1		85.5	88.6
修正医業収支比率	2.6		82.8	85.9
他会計繰入金対経常収益比率	80.0		11.1	9.5
他会計繰入金対医業収益比率	432.6		14.1	11.7
他会計繰入金対総収益比率	80.0		11.0	9.4
実質収益対経常費用比率	18.5		91.9	93.4

備考:
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	7,240,275
1 固定資産	6,938,607
(1) 有形固定資産	6,803,737
(2) 無形固定資産	4,893
(3) 投資その他の資産	129,977
2 流動資産	301,668
(1) 現金及び預金	285,813
(2) 未収金及び未収収益	12,855
(3) 貸倒引当金()	-
(4) 貯蔵品	-
3 繰延資産	-
負債合計	7,073,775
1 固定負債	5,833,622
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	5,403,342
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) 一ス債務	430,280
2 流動負債	635,363
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	571,998
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	2,181
(6) リ一ス債務	30,947
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	27,237
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	604,790
(1) 長期前受金	2,356,366
(2) 長期前受金収益化累計額()	1,751,576
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-
資本合計	166,500
1 資本金	14,131,984
2 剰余金	-13,965,484
(1) 資本剰余金	40,075
(2) 利益剰余金	-14,005,559
負債・資本合計	7,240,275
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	346,402	780,458
資本勘定繰入	399,542	399,542
計	745,944	1,180,000

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和4年度	-	-
令和3年度	-	-
令和2年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	7762.5
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和4年度)		都道府県名	
		静岡県	
市町村・組合名	一部事務組合下田メディカルセンター(事業会計分)		
病院名	下田メディカルセンター		
施設及び業務概況等			
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド 訓
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第2種該当
建物面積	8,632 m ²	不採算地区中核病院	
診療科数	15	指定病院の状況	救 感 輪
許可公営企業		看護配置	7:1
DPC対象病院	-	経営形態	指定管理者(利用料金制)
		類似区分	100床以上~200床未満

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和4年度	令和3年度	令和2年度
一般	134	58.1	66.2	65.2
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	4	19.9	9.2	9.6
計	138	57.0	64.6	63.7
平均在院日数(一般病床のみ)		17.3	11.7	11.4

設立団体の状況	
人口(人)	-
決算規模(千円)	-
標準財政規模(千円)	-
財政力指数	-
経常収支比率(%)	-
健全化判断比率	実質赤字比率(%)
	連結実質赤字比率(%)
	実質公債費比率(%)
	将来負担比率(%)

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	374,073			
1 経常収益	374,073			
(1) 医業収益	72,100			
(うち修正医業収益)	-			
入院収益	-			
外来収益	-			
診療収入計	-			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	72,100			
(うち他会計負担金)	72,100			
(2) 医業外収益	301,973			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	180,477			
(うち長期前受金戻入)	22,031			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	382,655			
2 経常費用	382,655			
(1) 医業費用	337,451			
職員給与費	14,503	20.1	59.4	67.0
材料費	-	-	26.1	18.2
(うち薬品費)	-	-	14.0	8.3
(うち薬品費以外の医薬材料費)	-	-	11.8	9.4
減価償却費	190,302	263.9	8.7	10.2
経費	125,705	174.3	22.1	28.8
(うち委託料)	115,511	160.2	11.7	13.2
研究研修費	-			
資産減耗費	6,941			
(2) 医業外費用	45,204			
(うち支払利息)	36,196	50.2	1.0	1.1
(3) 特別損失	-			
経常損益	-8,582			
純損益	-8,582			
累積欠損金	-			
経常収支比率	97.8		103.3	104.5
医業収支比率	21.4		85.5	80.1
修正医業収支比率	-		82.8	76.0
他会計繰入金対経常収益比率	67.5		11.1	15.0
他会計繰入金対医業収益比率	350.3		14.1	20.8
他会計繰入金対総収益比率	67.5		11.0	15.1
実質収益対経常費用比率	31.8		91.9	88.8

備考:
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	5,525,536
1 固定資産	4,752,203
(1) 有形固定資産	4,668,018
(2) 無形固定資産	16,081
(3) 投資その他の資産	68,104
2 流動資産	773,333
(1) 現金及び預金	648,230
(2) 未収金及び未収収益	125,091
(3) 貸倒引当金()	-
(4) 貯蔵品	-
3 繰延資産	-
負債合計	2,594,979
1 固定負債	2,094,163
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	2,094,163
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) 一 借 入 債 務	-
2 流動負債	315,725
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	209,099
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	833
(6) リ 一 借 入 債 務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	104,764
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	185,091
(1) 長期前受金	1,218,916
(2) 長期前受金収益化累計額()	1,033,825
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-
資本合計	2,930,557
1 資本金	1,086,977
2 剰余金	1,843,580
(1) 資本金剰余金	1,663,826
(2) 利益剰余金	179,754
負債・資本合計	5,525,536
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	158,920	252,577
資本勘定繰入	106,230	52,319
計	265,150	304,896

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和4年度	-	-
令和3年度	-	-
令和2年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	-
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:
 ・修正医業収益とは、医業収益から
 その他医業収益のうち他会計負担金を
 除いたもので、修正医業収支比率とは、
 修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益の
 うち他会計負担金を除いたものと医業外収益から
 他会計補助・負担金を除いたものの合計で、
 実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に
 占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、
 「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、
 「健全化法上の資金不足額」、
 「健全化法上の資金不足比率」、
 「地財法上の資金不足額」、
 「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で
 算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の
 財政構造の弾力性を判断するための指標で、
 人件費、扶助費、公債費のように毎年度定期的に
 支出される経費(経常的経費)に充当された
 一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする
 毎年度定期的に収入される一般財源(経常一般財源)、
 減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債
 の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和4年度)				都道府県名	
				静岡県	
市町村・組合名	掛川市・袋井市病院企業団				
病院名	掛川市・袋井市病院企業団立中東遠総合医療センター				
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド透I未訓ガ		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当		
建物面積	44,529 m ²	不採算地区中核病院	非該当		
診療科数	32	指定病院の状況	救臨感災地		
許可公営企業		看護配置	7:1		
DPC対象病院	対象	経営形態	直営		
		類似区分	500床以上		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和4年度	令和3年度	令和2年度
一般	496	77.6	75.6	71.8
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	4	59.9	46.3	62.7
計	500	77.4	75.4	71.7
平均在院日数(一般病床のみ)		9.5	9.2	9.1

設立団体の状況	
人口(人)	-
決算規模(千円)	-
標準財政規模(千円)	-
財政力指数	-
経常収支比率(%)	-
健全化判断比率	実質赤字比率(%)
	連結実質赤字比率(%)
	実質公債費比率(%)
	将来負担比率(%)

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	20,254,075			
1 経常収益	20,243,354			
(1) 医業収益	16,298,937			
(うち修正医業収益)	15,920,115			
入院収益	10,303,406			
外来収益	4,887,051			
診療収入計	15,190,457			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	1,108,480			
(うち他会計負担金)	378,822			
(2) 医業外収益	3,944,417			
(うち国・都道府県補助金)	2,491,131			
(うち他会計補助・負担金)	682,754			
(うち長期前受金戻入)	394,832			
(うち資本費繰入収益)	278,582			
(3) 特別利益	10,721			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	19,189,408			
2 経常費用	19,163,761			
(1) 医業費用	18,206,793			
職員給与費	9,844,021	60.4	59.4	52.8
材料費	4,195,971	25.7	26.1	31.5
(うち薬品費)	1,877,126	11.5	14.0	17.3
(うち薬品費以外の医薬材料費)	2,313,139	14.2	11.8	13.9
減価償却費	1,246,403	7.6	8.7	7.7
経費	2,823,611	17.3	22.1	18.0
(うち委託料)	1,470,426	9.0	11.7	10.7
研究研修費	67,841			
資産減耗費	28,946			
(2) 医業外費用	956,968			
(うち支払利息)	206,615	1.3	1.0	0.9
(3) 特別損失	25,647			
経常損益	1,079,593			
純損益	1,064,667			
累積欠損金	-			
経常収支比率	105.6		103.3	102.8
医業収支比率	89.5		85.5	90.3
修正医業収支比率	87.4		82.8	88.3
他会計繰入金対経常収益比率	5.2		11.1	7.5
他会計繰入金対医業収益比率	6.5		14.1	9.0
他会計繰入金対総収益比率	5.2		11.0	7.4
実質収益対経常費用比率	100.1		91.9	95.1

備考:
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	25,980,817
1 固定資産	13,217,754
(1) 有形固定資産	12,390,479
(2) 無形固定資産	395,916
(3) 投資その他の資産	431,359
2 流動資産	12,763,063
(1) 現金及び預金	9,351,400
(2) 未収金及び未収収益	3,081,493
(3) 貸倒引当金()	12,563
(4) 貯蔵品	298,825
3 繰延資産	-
負債合計	19,531,010
1 固定負債	15,547,887
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	12,981,890
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	2,565,997
(7) 一ス債務	-
2 流動負債	2,960,997
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	997,848
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	507,116
(6) リ一ス債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	1,455,833
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	1,022,126
(1) 長期前受金	5,298,682
(2) 長期前受金収益化累計額()	4,276,556
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-
資本合計	6,449,807
1 資本金	1,302,074
2 剰余金	5,147,733
(1) 資本金剰余金	146,304
(2) 利益剰余金	5,001,429
負債・資本合計	25,980,817
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	914,160	1,061,576
資本勘定繰入	664,534	664,534
計	1,578,694	1,726,110

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和4年度	-	-
令和3年度	-	-
令和2年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	-
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたもの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。